



(損保版)

第1～4月曜日発行
発行所 新日本保険新聞社
大阪市西区堀本町1丁目5-15
(郵便番号550-0004)
電話 (06) 6225-0550 (代表)
FAX (06) 6225-0551 (専用)
購読料 1か月2160円
(消費税、送料込み)

©新日本保険新聞社 2016

シンニチ保険Web

www.shinnihon-ins.co.jp

購読者専用サイトのパスワード

goldmoon

(2016年12月31日まで)

※「1月」と「7月」に変更します。

消費者からの支持が生きる道

日本代協・阪神ブロックコンベンション

日本代協阪神ブロック協議会(大阪代協、兵庫県代協、和歌山県代協)は、9月30日午後1時40分から、大阪市中央区の大阪損害会館9階講堂で、阪神ブロックコンベンションを開催した。新たな損害保険トータルプランナー資格者を祝う式典と記念講演には、代協、保険会社、損保協会などから



中村協議会会長

91名が参加した。式典の閉会にあたり、中村利雄阪神ブロック協議会会長が私たちの生きる道は、消費者からいかに支持されるかである。損害保険トータルプランナーは業界最高峰の資格である。保険募集人の資質の向上を求められている時に、価値が一段と高まり、最終的には消費者の役に立つと確信している。今後、より一層研鑽を積み上げていきたい」と挨拶した。

金融監督第4課保険監督室長の前田泰之氏が「改正保険業法では、昨今の環境変化を踏まえ、募集人に対しより積極的な顧客対応を求めている。損害保険トータルプランナーの皆さんがコンサルティング力をお客様のために発揮されることも、他の募集人の模範となっていたらいい」と挨拶。続いて損害保険協会近畿支部・事務局長の鐘ヶ江修氏が「全国約200万人いる募集人の中で損害保険トータルプランナーは約1万人である。損害



講演する平田氏

保険協会としてもこれまでに以上に損害保険トータルプランナーの皆さまの支援をしていきたい。新しい時代のリーダーとして活躍されることを期待している」と挨拶した。その後、損害保険トータルプランナーの資格を新たに取得した会員(大阪代協37名、兵庫県代協10名、和歌山県代協12名)で、出席した資格取得者(20名)に、それぞれが所属する代協会長から記

年間1億円を売り上げれば優待旅行添乗員といわれる中で8億円の売上を誇り、ラジオやTVでも活躍中の(株)日本旅行の平田進也氏が「人の心はだれでも掴める」と題し、講演を行った。同氏は、人の心掴むには、第一に「人をトコトコ喜ばせること」「気持ちよくなせること」そして人と人の距離を縮めるために「相手を和ませること」が大切だと話し、

念品が贈呈された。記念講演に先立ち、日本代協副会長の小出富晴氏が「損害保険トータルプランナーは業界最高峰の資格であることを自負していただきたい」と挨拶。また、仕事上においては、市場は無限にあるという発想の転換のもと、「お客様が何を希望しているかを常に探す・掘り起こす努力が必要」と述べ、日ごろ夫等に対してストレスを抱える女性をターゲットに、自身が企画した「仇討ちツアー」の様子をビデオ映像で紹介し、「工夫があるところに利益がある」ことを強調した。そして最後に、「お客様に寄り添う姿勢や“ちょっとした気遣い”といった情と心こそが、お客様から『あなたに任ず』と思ってもらえる秘訣である。保険募集人の方も同じだと思う」と締めくくった。